

6月27日：VN指数は再び軟調な値動き (VN-Index -0.17%)

- 投資家心理の弱気姿勢は改善せず、本日もVN指数は下落して取引を開始した。
- 前場では、VN30 銘柄が相場全体の重しとなった一方で、指数は前日終値の水準を境に騰下落を繰り返した。
- 後場の開始以降は比較的上向きの推移となったが、最終的には前日比で下落となった。
- セクター別では、特に保険セクターの上昇が相場の支えとなった。一方で、石油ガスやメディアセクターの下落が足を引っ張った。
- 175 銘柄が上昇、214 銘柄が下落、93 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は大きく減少し、27%減の 15.1 兆ドンとなった。

VN30 指数はマイナス圏で推移 (VN-30 -0.18%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、10 銘柄が上昇し、15 銘柄が下落、5 銘柄が変わらずだった。
- 特に、POW (-3.59%) が下落。他にも、PLX (-2.59%) や TCB (-2.29%) の下落率などが大きかった。
- BVH (+2.79%) や MWG (+1.28%)、HDB (+1.10%)、SAB (+1.00%) などが相場を支えた。

セクター・個別株の動き

- ベトナム証券保管クリアリング (VSDC) は、HPG (-0.17%) による新規発行株式の投資家への正式な受け渡し日が、6月28日になることを発表した。受け渡し総株数は5億8100万株で、総額5.8兆ドン程度と見込まれる。
- BCM (-1.21%) は本日行われた株主総会に際し、3億株の公募増資を発表した。予想される最低増資額は15兆ドンで、保有する工業団地の拡張などに用いられる予定。

- 外国人投資家は1兆1440億ドルの売り越し。MWG (+1.28%) に買い越しが集まった。一方、FUEVFNND (+1.09%) を中心に売り越され、個別銘柄ではFPT (+0.76%) が引き続き売り越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。